



■ テーマ名 高齢者リハビリテーション・ケア

■ キーワード
高齢者、ケア、リハビリテーション

■ 研究の概要

時代と共に変わる高齢者リハビリテーション・ケアにおいて、過去・今を見ながら、今・将来に求められるリハビリテーション・ケアについて考え、その実践の方法を探究することを主たる研究テーマにしています。

リハビリテーション・ケアは、まずは目の前のお一人お一人を大切に、丁寧に向き合うことから始まります。そのことを心した上で、様々な経験を積み、体系化されたリハビリテーションとケアの世界を築いていけるよう取り組んでいこうと考えています。

このような研究に基づいて、リハビリテーション・ケア現場に資する人材、さらにはリハビリテーション・ケアの仕組み（制度）を考えることのできる人材の育成に努めています。

<その他の活動やこれまでの経歴>

厚生労働省老健局高齢者リハビリテーション研究会委員 2003年
厚生労働省介護予防スクリーニング手法検討小委員会委員 2004年
兵庫県老人保健計画改定委員 2009年～
兵庫県健康づくり審議会委員 2015年～

<主たる担当講義>

・日常生活活動学・実習 ・福祉用具論・演習 ・コミュニケーション論 ・地域リハ論

■ 他の研究／技術との相違点

旧来の福祉の発想にとらわれず、一方で実際の範を見極めつつ、実践的なケア技術の開発を行います。

■ 今後の展開、実用化へのイメージ

現場の実際を身近にしながら、将来につながるケアの考え方と技術を現場と、例えば政策決定に関わる関係各所等に情報発信します。

■ 関連業績（特許・文献）

（著書）
・地域ケアを見直そう（医学書院、2003年）
・高齢者リハビリテーションと介護（三輪書店、2008年）

■ 研究者から一言

スウェーデン語に「omsorg」という語があります。「専門家がその専門性をもって、一方で感情をもつ人間同士の間で交わされるケア」と意識できる、即ち、我が国のケアには無い概念といえることができます。

この omsorg の概念をもって、これから高齢者リハビリテーションとケアを考えていきたいと思っています。